【 三省製薬　News Letter 】

よりよい成分 よりよい化粧品
三省製薬株式会社
2026 年 11 月

美容成分・化粧品の開発から、製造・マーケティング、お客様対応など様々な分野で女性が活躍する三省製薬

- **性別にかかわらず、新しいことへのチャレンジや、仕事の深耕による成長に期待。**
- **育児休業や短時間勤務に加え、地域の子どもも受け入れる保育園を運営。**
- **女性活躍推進企業として「えるぼし認定」（2 段階目）を取得。**

美容成分と化粧品の開発・製造・販売と、オリジナル化粧品ブランド「デルメッド」、「IROIKU（イロイク）」、「yameKAGUYA（やめかぐや）」を展開する三省（さんしょう）製薬株式会社（本社：福岡県大野城市、代表取締役社長：陣内 宏行）では、当社の企業・事業動向やトピックスをニュースレターとして定期的に発信しています。

当社では、2026 年 11 月現在、社員の 55%を女性が占めており、4 年前の 45%から 10 ポイント増加しました。女性社員は、美容成分や化粧品の研究開発から製造、マーケティング、お客様対応など、幅広い仕事を担っています。背景には、部署の垣根を越えて、社員同士がコミュニケーションを取りやすい職場環境づくりや、子育て支援の取り組み、そして、真摯に、誠実に、まじめに仕事に向き合う社風もあります。

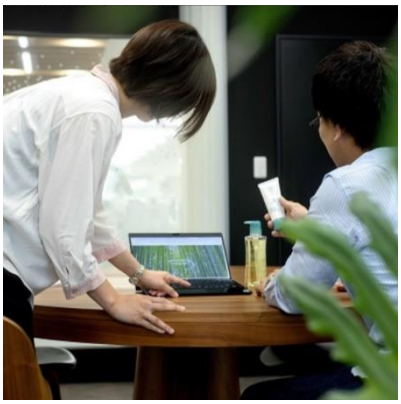
今回のニュースレターでは、女性社員が携わる仕事やキャリアの広がり、仕事と子育ての両立を支える取り組み、性別を問わず多様な人材の活躍を期待するトップの考えなどをご紹介します。

■　開発部門の新卒採用者はほぼ女性。美容成分・化粧品の開発から製造・マーケティング、お客様対応など広がる仕事とキャリア。



近年、美容成分の開発を担当する「素材開発部」と、化粧品の開発を担う「製品開発部」では、新卒採用者の多くが女性となっています。少人数でプロジェクトに取り組むことも多く、開発部門では、若手社員にも早い段階から仕事を任せています。

「素材開発部」では、研究員が自らテーマを考え、美容成分の素材探しから評価、量産化まで、一連の開発工程に携わります。「製品開発部」でも、若手の女性社員が新しい美容成分を配合したオリジナルブランド製品の処方開発や製品化に取り組んでいます。一人が担当する仕事の範囲も広く、自ら考え、試行錯誤を重ねながら経験を積んでいます。



また、近年は SNS の活用や販売チャネルの拡大に伴い、マーケティングや営業に関わる部門では、新卒・中途ともに採用を増やしており、その多くが女性です。

女性社員の仕事は、開発やマーケティングにとどまりません。化粧品の製造を担う「ライン生産部」、品質を確認する「品質保証部」、お客様からの問い合わせなどに対応する「カスタマーフロント部」、直営店「Sansho Beauty Plaza」など、製造現場からお客様との接点まで、幅広い仕事に携わっています。佐賀工場では、女性社員の提案から、充填・包装工程の改善につながった事例もあります。

入社後のキャリアもさまざまです。現在 4 名いる女性管理職の中には、電話によるお客様対応を経験した後、マーケティング部の管理職となった社員がいます。また、新卒で入社し、マーケティングや製品開発、品質保証など複数の部門を経験した後、現在は PM・薬事チームの課長を務めている社員もいます。

■ 定期面談や研修など社員の成長を支えながら、よりよい仕事、ものづくりを目指す。

当社では、入社時に会社の理念や商品について学ぶ研修を行うほか、OJT やキャリアに応じた研修、資格取得を支援する制度などを設けています。

また、上司との定期的な面談を通じて、中長期的にどのように働きたいか、社員が希望を伝える機会も設定しています。キャリアにおいては、能力開発や視野を広げるために複数の部署を経験する社員もいます。一方、一つの専門分野で知識や技術を蓄積し、スキルを磨く道もあります。

社員それぞれのキャリアや成長のあり方を共に考えながら、よりよい仕事、ものづくりにつなげていきたいと考えています。

■ 女性の育休取得率は 100%。従業員や地域のお子様をお預かりする保育園を本社敷地内で運営。

2022 年度以降の女性社員の育児休業取得率は 100%で、育児休業から復帰した社員は、おおむね休業前の業務に戻っています。また、近年は男性社員の育児休業取得も増えており、同取得率は約 50%となっています。育児のための短時間勤務制度も備えており、現在 5 名が利用しています。育児休業などで職場を離れる社員がいる場合には、周囲の社員が業務を分担して対応しています。

また、当社は 1997 年より社内に託児所を開設し、仕事と子育ての両立をサポートしてきました。その後、従業員の子育てだけではなく、地域の子育てにも貢献したいと考え、2017 年には、本社の敷地内に「大池さんしょう保育園」を開設しました。



2026 年 11 月 2 日現在、9 名の園児を受け入れており、そのうち 3 名が従業員のお子様です。開園以来、延べ 12 名の従業員のお子様が利用されました。

お子様を安心して預けて働ける環境を会社が提供することは、今では、当社にとって当然のことだと考えています。

■　女性活躍推進企業として「えるぼし認定」（２段階目）を取得。

当社は本年 7 月 15 日に、「えるぼし認定」（2 段階目）を取得しました。これは、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍に関する企業の取り組み状況を厚生労働大臣が認定する制度です。

認定においては、「採用」、「継続就業」、「労働時間」、「管理職比率」、「多様なキャリアコース」の 5 項目があり、基準を満たした数に応じて 3 段階に認定されます。
当社は「採用」、「労働時間」、「管理職比率」、「多様なキャリアコース」の 4 つの項目について認定基準を満たし、2 段階目に認定されました。

■　代表取締役 陣内宏行コメント　～　社員の成長への期待。



当社の前身は、1887 年に福岡県大牟田市で開業した「陣内三省堂薬局」です。その製薬部門が独立して 1960 年に三省製薬が誕生しました。

私の父である陣内凡夫が研究開発に取り組んだ「コウジ酸」が 1988 年に美白有効成分として承認を得たことを強みとしながら、これまで 140 種類以上の美容成分を開発し、それを生かした化粧品作りなどに取り組んでいます。

私は 1995 年に当社に入社しましたが、当時は男性社員が多数を占めていました。それから約 30 年が経ち、現在では女性社員が過半数を占めています。

2003 年の代表取締役就任後は、女性の比率を高めること自体を目的として採用を進めてきたわけではありません。特に性別は問わずに採用を重ねてきた結果、現在の社員構成になっています。

その折々にご縁があった方々とともに、一所懸命に仕事をしてきた結果が、今の三省製薬です。美容に関わる商品を扱う会社として、女性社員が多いことは当社の強みの一つになっていると感じています。

当社には、性別や年齢に関係なく、新しいことにチャレンジできる風通しの良さがあります。また、常にお客様の視点から考え、一つひとつの仕事にまじめに、実直に向き合うことを大切にしています。

社員には、常に好奇心を持って仕事に向き合ってほしいと思っています。チャンスがあれば、新しい仕事や新しいポジションにチャレンジし、成長してほしいと期待しています。同時に、今の仕事をしっかりと深耕し、知識や技術、スキルやセンスを磨くことも大切にしてほしいと考えています。

大切なことは、自らがしっかり“考える”ことです。それを皆で共有し、さらに考えを深めることで、新たな価値を生み出す。そんな好循環につながる組織づくりを進めていきます。

■ 三省製薬株式会社　会社概要

■社　名	三省製薬株式会社（Sansho Pharmaceutical Co.,Ltd.）
■創　業	1960 年 3 月
■代表取締役社長	陣内　宏行
■資本金	8,767 万円
■売上高	22 億 2,448 万円　（2026 年 3 月期）
■事業所	＜本社＞ 〒816-8550　福岡県大野城市大池 2 丁目 26 番 7 号 ＜佐賀工場＞ 化粧品原料製造および化粧品製造業者として COSMOS 認証取得工場、 ISO9001、ISO22716（化粧品 GMP）取得工場 〒841-0048　佐賀県鳥栖市藤木町 5 番 1
■事業内容	化粧品原料の開発、製造、販売 医薬部外品・化粧品の開発、製造、販売（自社ブランド・OEM）
■従業員数	100 人
■URL	https://www.sansho-pharma.com https://www.dermed.jp https://www.iroiku.jp https://yamekaguya.com